

人の一生は重き荷を負ふて遠き路を行くが如し急ぐ可らず

內兒外科
梅毒淋病
院長 陸軍軍醫正 高井貞治
電話 二一六〇
高井醫院
京越町三丁目
入院隨意

を備へたる空中船にて、同地より
倫敦へ向つて大西洋を横断せん
と企圖を發表せしが、其の實行は
にして六日乃至十日にて達する
る由に御座候。

靜謐なるの時となりしを以て愈々此方針を實行することし先づ小銀行の不正行為あるものに對しては夫々相當の處分方法を購することし今一回は等に関する内訓を地方長官に發したり從つて今後は等不正銀行は嚴密なる綱裁處分を受け其結果は漸次不正小銀行の

五、六寸位のところがまづ程度である。これはよくない、一番よいのは木の箱で、その方法は、容器と場所と餌食とに注意すればよいものである。容器はガラスを必要を用ゐてゐる人もあるが、これ

地方通信

▲平壤通信

▲韓銀近況と商況 平壤韓國銀行支店に於ける昨今の營業狀況を、聞くに本年は概して一般商取引凡て經濟上の輕便は遲延し、各同友友古手切間に於

つゝあるも例年に比し遅れ居る趣
 望し上と
 味と忘れ
 りれぬは
 随て貸附額の如きも昨今猶三十
 圓余ある由なるが一般轉入向の購
 就ては何れかと云へば減少せる

夫事件 平壤水道事務所にて
夫苦情の一條にて今宵は共用
見合はせ居れるが、人夫飼にて
至るも主張を挂けず頑然當初
貫徹せんと努め居るを以て事
は全く彼等を威壓し去る多少

「本妻金太夫といふ人の、息子で金の助年
 齢は二十六歳、一人子の坊っちゃん、昨
 日から酒に耽んでゐるのだから何だか
 ？」と怒つてゐる、うれと花魁が飾
 り着てゐる息子、若い衆は、メコ
 ノ頭を下げて着て、何うも誠に若
 く、

「お暇、私、金フム傳、偶爾火鉢末ではな
 うと思ふ、このだけの日役目、夜半
 三度花魁の部屋々々をチョイ、ど
 きに参りました金フム傳、どころか
 の部屋で火鉢の上に五十兩の金子が
 落ちて居りました、ア、斯様も金子

得ざる事となり目下佐治内都事
家、案を機として頗りに其の解決
に居り而して一方各給水志望者
期に就ての苦情も續出する始末
速くもこゝ一二週間には何とか
苦げん筈なりと聞く

「いせんかす伺ひますの、
車庫にいたらない、五兩や八兩の金子だ
たら思ひ違ひといふところあるけれど
も、金子の五十兩も照ひ違へたり、考
へ違へたんなら三浦屋の事だと聞くと
居るし、可成とも斯ういふ間になつて
きたと金ア、さうかわれ、前さん

政談走筆 第二十三回 旭堂南陵講

所^{しよ}置^ち金^{きん}銀^{ぎん}脚^{きゃく}小^{せう}質^{しつ}
皆^{みな}御^ご用^{よう}達^{だつ}

思^{おも}へず
たす
も
ン

屋^や敷^{しき}に
不^ふ思^し算^{さん}だ、五^い兩^{りやう}や八^{はち}兩^{りやう}の金^{きん}子^こだつたら
方^{かた}か^かも此^{この}様^{よう}な海^{かい}を感^{かん}傷^{しょう}ひやアし
ない、五十^{いそ}兩^{りやう}だよ、金^{かね}子は 若^{わか}「ヘイ左
様^{さま}でございます、その五十^{いそ}兩^{りやう}でござい
用^{よう}筈^{ばつ}の抽^ひ出^{だし}に履^はつてあつたのを十^{じゆ}

傳^{でん}「財^{さい}布^ぷが何^{なん}のへ入^いつて居^ゐりましたか」
令^{れい}「ヘイ、財^{さい}布^ぷにも阿^あにも入^いつて居^ゐら

京^{きやう}城^{じやう}本^{ほん}町^{まち}三^{さん}丁^{ぢやう}目^め 大^{だい}坂^{ばん}野^の村^{むら}徳^{とく}七^{しち}

京城本町三丁目 大坂野村徳七代理店 田中友吉商店 電話九六三(大)

成候の往々今夏は待合と小森材木店裏敷分け
 は涼しく夕暮の時目と心とをこめぬ新敷分け
 の際生数は猶も四思半君の墓ま道へ上りて
 を御見賀店前に出て右に御曲り上基門もと
 と

たい

こん
ぢ
すい

今治大

價藥

中大小
瓶瓶瓶
三十五
七五
支支支

本店
大阪府市心橋通
東京市銀座区町

登 録

清酢 特約店

野間直兵衛

京成本町四丁目

一 品 大 上 商 店
電話二五一

眼科
日曜及祭日は
午後二時迄

江頭富雄
前漢城病院眼科部長
醫學博士

主の家の

裏道傳へは元住の家本門通り右の小路
妻門よりとあるじ白す

本店 大阪市心齋橋
大馬路 京市船場町
分館 平野會

特約店
前田商店
京成本町四丁目

店 電話九九三番
發電器 (タ)

置かるゝ領用地を韓人にも貸付く
がよし然すれば京城に於ける資本の出

シシット、
シヤンピン、
ウ井ノ子、
キサンピン、
ルイタレン、
水鉦小賣

洋鞍草類金銀美術品直接輸入商
三丁目

过
屋

支店電話三六六
三六六

置かるゝ領用地を韓人にも貸付く
がよし然すれば京城に於ける資本の出

シシット、
シヤンピン、
ウ井ノ子、
キサンピン、
ルイタレン、
水鉦小賣

洋鞍草類金銀美術品直接輸入商
三丁目

过
屋

支店電話三六六
三六六

るを得べく日韓人相倚りての繁昌
なしと唱へつゝあり近々鐵道管理局に

[illegible]

子なりと申すに躊躇せじ龍山元町

[illegible]

多なりしが多くの人は水道水を使用し

[illegible]

るまじ吾等平民は溢さゝるを得ずして
 益し甲斐無きを怨み居るなり

[illegible]

七月 金 高 枚

日底新

五年後の太平洋

協約成立經過

今日更には着々として進歩しつつあるが、この間の間に一日も進歩しつゝ長年に分る南大門を閉鎖して、たゞにせよ、司令部及び官廳の移住を促さうとする。南大門を閉鎖して、たゞにせよ、司令部及び官廳の移住を促さうとする。

資本金四十萬圓
政府出資十萬圓
日本銀行出資十萬圓
日本銀行出資十萬圓

有利なる漁業と海底に放棄したる有
日韓無斯の供給する金
電燈と不撓と和合金
澄甲要鑛を忽ち居るなり
を忽ち居るなり

▲治外法權▼
今度發表され

國政は相互の交託を數ふし東洋の
 中米巴奈馬の地味は速くも明治四十八
 年
 明石司令官の訓示を受け且つ韓國領
 高橋軍醫の着任
 韓國憲兵隊附を
 命ぜられたる三軍醫
 國元吉氏は十
 前線縱延金九千百圓
 支給
 久能
 省三
 魚の影響を來したるが如し而して太刀
 刺に六万立方尺に達し居る由なるが
 魚の捕獲は八月より十一月迄にして九
 七月
 金
 十五
 二
 八
 八
 萬
 枚

國政府のみならず、國民同士も互に

[illegible]

並に困難なのは露人間に邦語を普及さ

此の間の収益の多寡を以て電氣局の振舞ひに資するを主とする。此の間の振舞ひは、
 夫に實業の模範となさしむる事
 客店及び行商並に貧民
 漢江通車開通式
 漢江親親しむの此好風氣
 南國民相親しむの此好風氣

た、今迄の處日語は露人に用なく、
語は邦人に用なく、偶たま邦人にして露

度支部視察の順序

中心地たる太平洋沿岸方面と太平洋の取引輸入せらるゝ主要の取引順序、上海に輸入せらるゝ主要の取引順序、のめが善い高の萬を見ても、此の期は江戸前産米は四萬石の產地に以て有名な年々の減額は四萬石（良農田五畝を可なり）地方であつたことが首肯され、電車線路一哩半は今般整備したるものと、那人國には露人間に犯罪者普及、茲に因難なものは露人に犯罪者普及、

茲に日露兩國民を相親しましむるに
その大なる困難は日露兩國が殆んど

[illegible]

い▲今度出来た協約は至極結構な者

[illegible]

由行動を認める様にさせなかつたか

[illegible]

するものは蟪蛄の斧を以て龍車に向

[illegible]

韓妻の處分を始めた、三面探報者曰

[illegible]

及山形中佐並に市原總裁各大臣其の文武官民新聞記者五百餘名の見送り

に依り歐洲に於ける各自利益の改善を電報ありたりと云ふ。又、
少將を領へ内部で海軍同盟の組織及び書と交換し自國又は其他の外國取引店手したるも失敗に終り其後日人は船中地方農民營繕の上に於て甚大なる効果消息を知れる者は今更地のまじに捨てさば豊作風なりと。

整頓して見送り

[illegible]

あり徳商店

擁護せざらん

ク ク ク
ラ ラ ラ
ブ ブ ブ
歯は 白^{おし} 洗^{あらい}
磨^{みが} 粉^{こな} 粉^{こな}

を用ひて

天^{てん}地^ち火^かの三^{さん}ありて萬物^{ばんぶつ}生^{せい}ず陰陽^{いんやう}相^{あひ}合^{あは}し、古^{いにしへ}に三^{さん}聖^{せい}ありて風^{ふう}流^{りゅう}今^{いま}に絶^たれず天^{てん}に日月^{にげつ}星^{せい}の三^{さん}あり、地^ちに水^{すい}火^かの三^{さん}あり、人^{ひと}に三^{さん}聖^{せい}あれば文^{ぶん}珠^{しゆ}の智^ち恵^ゑ三^{さん}儒^{にう}教^{きやう}は今^{いま}と通^{とお}じて無^なくはならぬ、美^みなり。

●三^{さん}大^{だい}要^{よう}素^そ

何^{なん}人^{ひと}も己^{おのれ}を愛^{あい}する者^{もの}の爲^{ため}に美^み身^みるの義務^{こむ}を有^あす。

美^みを加^{くわ}ふるは愛^{あい}を加^{くわ}ふる所以^{ゆゑ}なり、少^{すく}くとも愛^{あい}を失^{うしな}はざる所以^{ゆゑ}なり、總^{そう}なる自然^{じぜん}の美^みを發^{はつ}揮^ゐせんと欲^{ほつ}せば唯^{ただ}たなく自然^{じぜん}の美^みを洗^{せん}粉^ふを用^{もち}ひ、洗^{せん}粉^ふが自然^{じぜん}の全^{ぜん}く美^みく用^{もち}ひし美^み

に「**素**」の字は素を意味す、素は三を以て超へたる、素實自ら現れるクラ白粉、洗粉が更にその姉妹としてクラ白粉、タダシ齒磨の二を加へて三人兄弟相寄り相助けに家庭の仲居、紳士淑女の重たざる處なりとす。

美の代名詞

① クラブ洗粉は「美」の代名詞なり。現今に洗ける洗粉製造の技術は恐らくクラブ洗粉以上の物を製出するまでに達せず。

② クラブ洗粉の効験は立ろなり。

併し乍ら驚くべく自然美の發揮は
 永く之を愛用する者は其の妨礙の
 廣告以上に著しきものに驚く
 クラブ洗粉は婦人の生命なり男子に
 啖ひたるものなり
 クラブ洗粉を用ひて之を發揮するを

[illegible]

人工業^ニ自然美^ヲに勝る^ハ能はずと云へり
此の三美^ノ全^クくして加ふるに道徳美^ヲを備へる紳士淑女は共に人生の快樂を全するを得べし

美身の義務

我々有て是の天才を授け與へんや
文豪スル時代のクラフ洗粉ありせば
美は人の生命なり天恵の富
今我々愛する者は必らずクラフ洗粉を用ふ

何人も己れを愛する者を有す。

クラブの需要は世界的なり

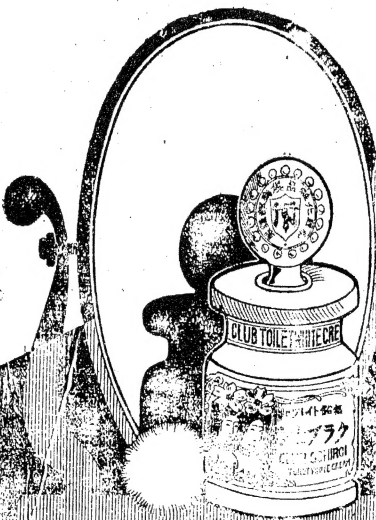
美しく生れざる人

誰か其美を

工夫せざらん

ク ク ク
ラ ラ ラ
ブ ブ ブ
齒^は 白^{おし} 洗^{あらい}
磨^{みが} 粉^こ 粉^こ

を用ひて




電話一三八二番

明治廿七年七月創立
東京代辦店 本町四山口吳服店 電話九
資本金一千萬圓 事務所 京城南大門通二電話一〇六番

ビヤホール

氷
アイスクリーム
●登呂呂汁(御麥の御飯)
●和洋會席御料理(御手輕主義)

松風軒


 諸紙 諸官衙御用
 和洋帳簿 印刷
 各種製本 印刷
 播^ハ本^{モト}商店
 京成本町六丁目
 電話百拾番

營業科目

和洋紙類	印刷附屬品	印刷インキ	和洋書籍	防霉デシン	穀物食鹽
------	-------	-------	------	-------	------

發售取賣

東京中野アヲアルト株式會社代辦店	東京千代田生命保險株式會社代辦店	東京博文館發行書鋪特約店	東京金澤鐵工所事務所
------------------	------------------	--------------	------------

藤田合名會社

本社：東京市目黒二丁目三番(舊新橋) 出張所：東京、京都、大阪、神戶、名古屋、福岡、北九州、仙台、札幌、旭川、釧路、網走、青森、岩手、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、富山、石川、福井、滋賀、岐阜、愛知、三重、奈良、和歌山、徳島、香川、高松、岡山、広島、山口、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇。

京城梅毒病院

資本金 一千萬圓
積立金 五百四十萬圓

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
電話一一番 六一一番
東京市日本橋區聖町
支店及出張所
大坂、京都、横浜、神戸、名古屋、四日市、下關、
新大坂町、東京、兵衛、伏見、西宮、
その他日本韓國各地並に海外樞要の場所にて爲替取引先有之

無
比
強
烈

あや
あ

關戸蚊帳會社 韓國代理店
吳服 太物 京城明治町一丁目
洋反 蒲團 調進
新案特製綿韓國特約店




唐川商店

電話二六一番

奥出洋服店
京城櫻井町五十七番ノ一（電話）二二五五番

 韓國銀行

日本	東京	大阪	橫濱	神戶	名古屋	四日市	下關	兵庫
韓國	京城	新大邱	西海	海山	沙里院	長川	寧邊	
清國	大連	遼陽	旅順口	奉天	天津	北京		
暹羅	曼谷							
其他								
外國	香港	桑港	紐西	蘭蘭	巴里	里昂		

特約販賣自製

味噌醬油製造元
 濱物問屋

京城本町五丁目

大上商店

電話二一五一番

新ビール大賣出し

實物運送取扱
稅關貨物取扱

危險擔保附運送品
代金付貨物運送
貨物引換證發行

國內通運株式會社

仁川 草 龍山

京城南大門驛前
京城支店

電話七〇八番
電話一七九番

仁川驛前
草藥驛前
龍山驛前

出張所
出張所
出張所

電話五二一番
電話五三二番
電話二〇六番

-56-